



クライアントPCのデータ保護
～効率的なバックアップ環境～

2018年11月

Arcserve Japan

> クライアントPCのバックアップをしていますか？

最新データはクライアントPC上に存在します。
生産性の決め手になるのも、クライアントPCの業務です。

コンピュータウイルスに 感染しちゃった！

うっかり不審なメールを開封！
大事なデータが汚染…なんとかしなくちゃ。

感染がどんどん
広がって…



データ汚染
しちゃった！



立ち上がらない！ PCが壊れた！

業務の大切なデータが入っているのに…
すぐ直さないと業務が止まってしまう！！

業務データが
この中に…

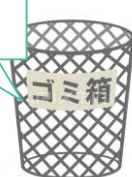


業務が継続
できない!!

あっ！間違って消しちゃった！

ごみ箱の中身も完全に削除。
どうしよう、重要なファイルなのに…

ごみ箱内も
完全削除…



重要ファイル
消してしまった！



PCを紛失！ 何のデータが入っていた…？

モバイルPCを紛失！暗号化はしているけど、
どんなデータが入っていたかは確認しなくては…

個人
情報

機密
情報

契
約
書



> 企業のクライアントPCバックアップに求められる要件

簡単
利用

簡単
導入

arcserve®
Unified Data Protection
Workstation Edition

簡単
管理

arcserve®

> 企業のクライアントPCバックアップに求められる要件

企業のクライアントPCバックアップのシステムでは、**運用台数が多い事と組織的取組**としてバックアップ環境を構築する必要がある事から、**パソコン単体用のバックアップツールとは異なる機能**が求められます。

簡単 利用

クライアントPC利用者の業務生産性を損なわず、復旧も簡単に。また、管理者がディスクを効率的に利用できる機能が必要

簡単 導入

クライアントPCは台数が多いため、導入や展開が簡単に実施できる機能が必要

簡単 管理

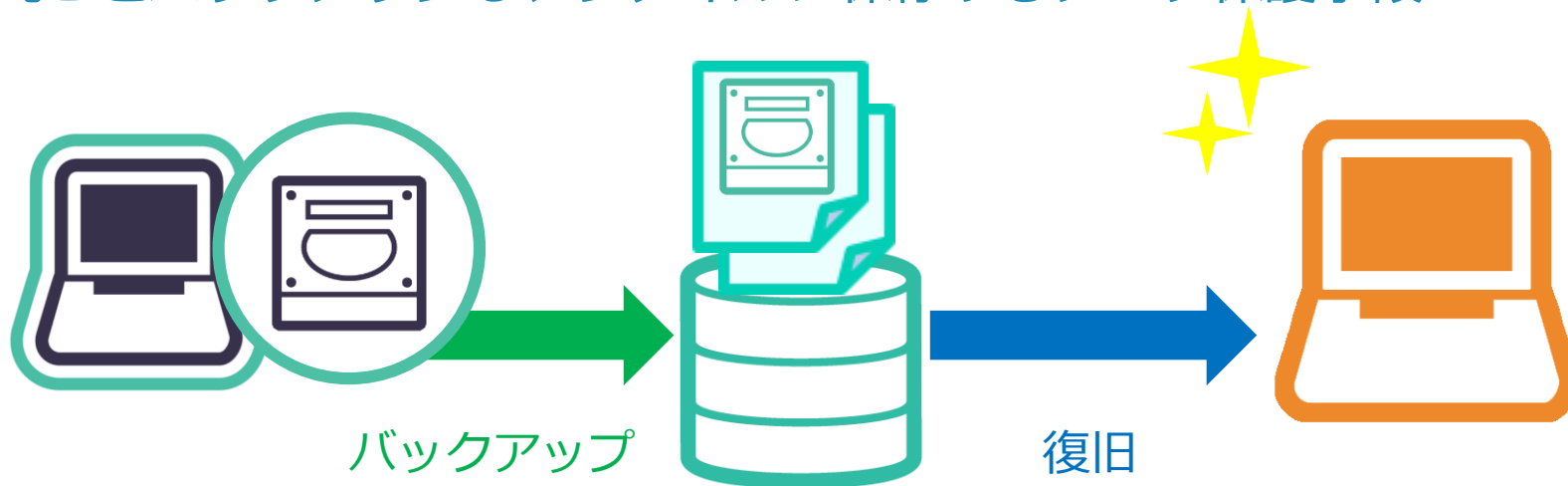
クライアントPCは台数が多いため、運用負荷が少なく、企業として求められるバックアップポリシーの徹底が簡単にできる機能が必要

> 超簡単イメージバックアップ Arcserve Unified Data Protection (UDP)

簡単
利用

イメージバックアップとは

イメージバックアップとはファイル単位ではなく、ハードディスク全体を丸ごとバックアップし、ファイルに保存するデータ保護手段



OSを含め一気にリカバリできるのでシステム全体を**簡単に復旧**できます
また、個別のファイル単位の復旧も可能です

> I² テクノロジー： 継続的な増分バックアップ

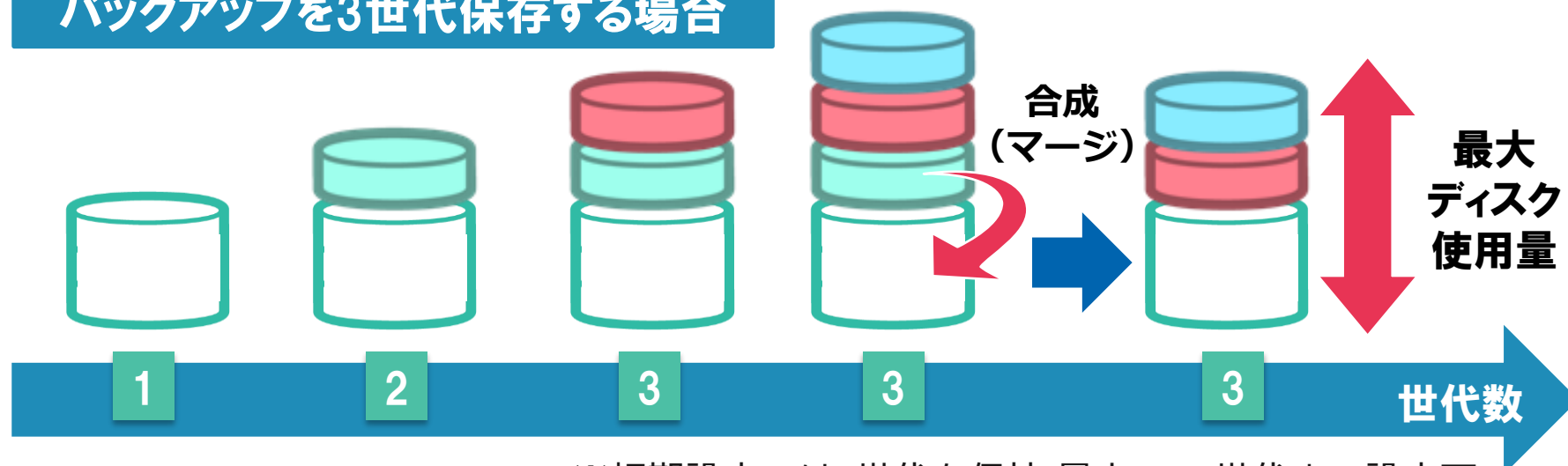
簡単
利用

バックアップデータの自動メンテナンス機能

フル バックアップは初回のみでOK！

バックアップの世代数が設定された数(*)を超えた場合、最も古い増分データとフル バックアップを合成（マージ）させ、フル バックアップの世代を更新。
毎回増分バックアップなので**バックアップの処理時間が短く、PC利用者の業務に大きな負担をかけません。**

バックアップを3世代保存する場合



※初期設定では7世代を保持(最大1344世代まで設定可)

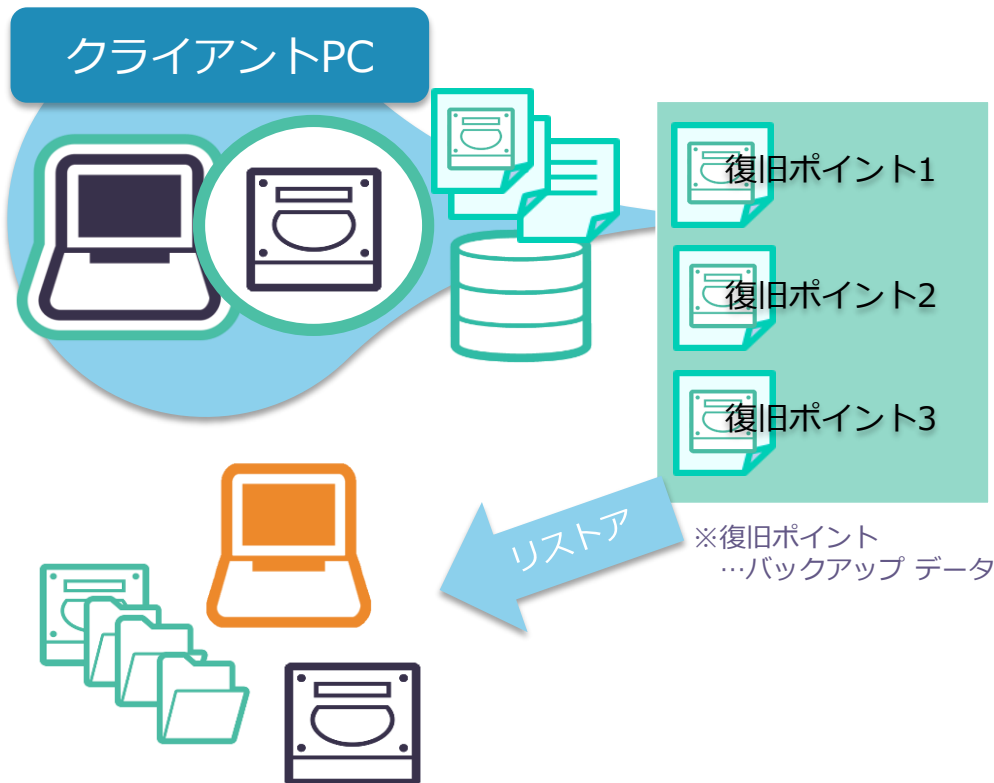
arcserve®

> 簡単操作でファイル単位のリストアが可能

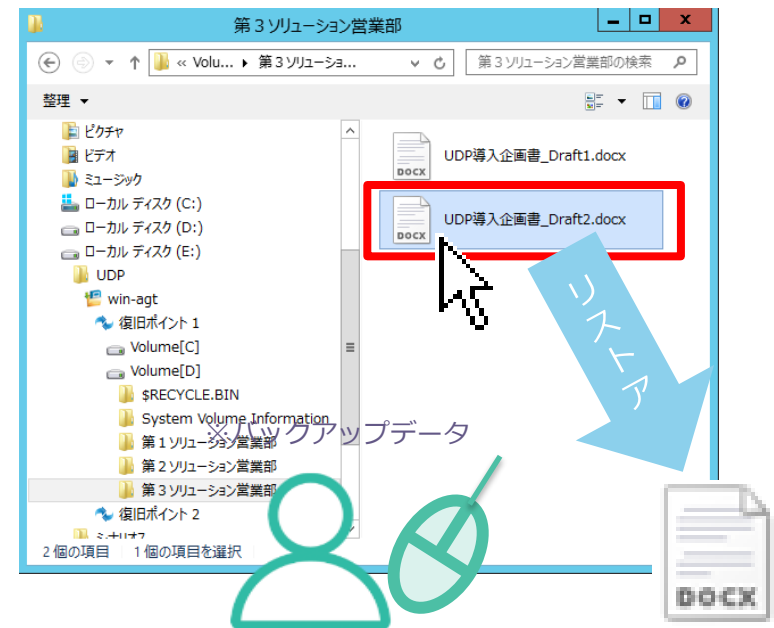
簡単
利用

Q: イメージバックアップだとシステム全体しか戻せないの？

A: Arcserve UDP では**システム全体もファイル個別**にもリストアが可能です。
使い慣れたエクスプローラからドラッグ&ドロップで簡単にファイルやフォルダをリストアすることもできます。



ドラッグ&ドロップでファイル単位のリストア



※エクスプローラからのリストアには管理者権限が必要です

arcserve®

> Arcserve UDP 統合管理

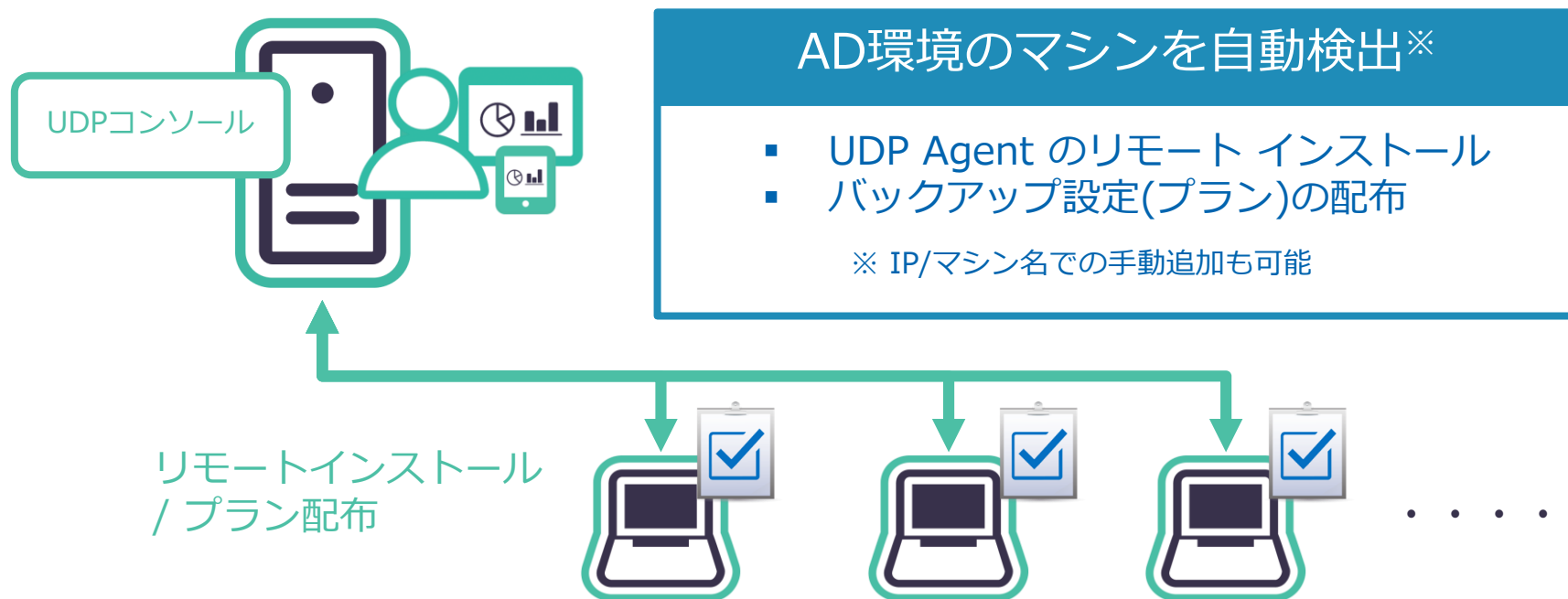
簡単
導入

Arcserve UDP コンソール

効果

一元管理で、バックアップ環境を見える化
リモートインストールで、導入作業の負担を軽減

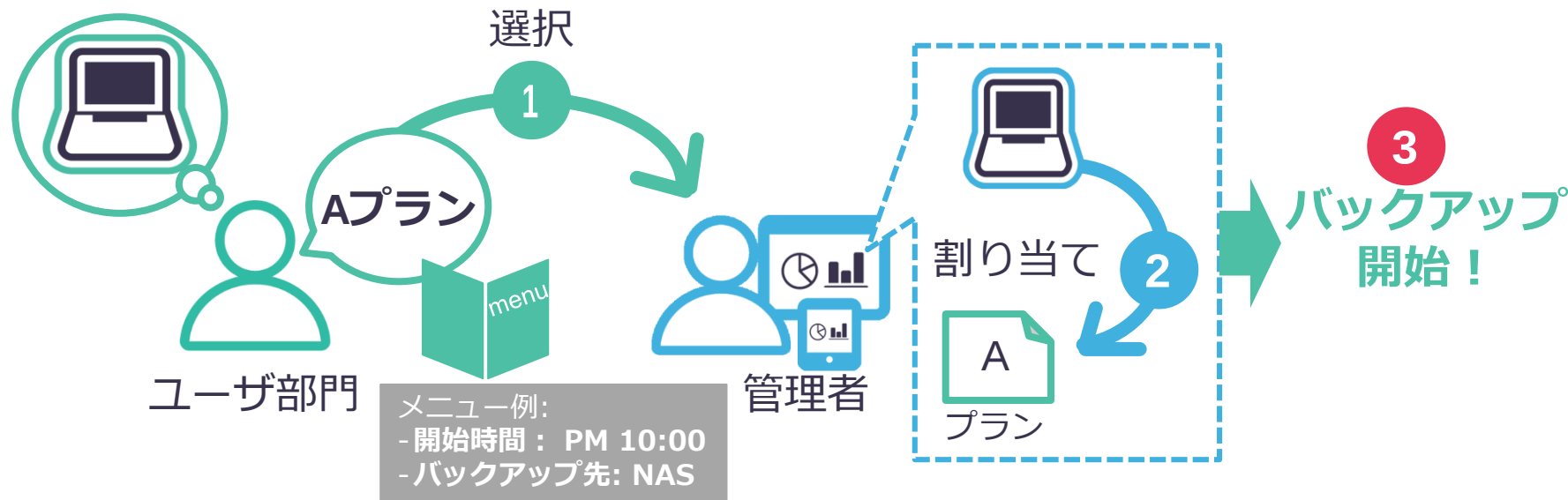
台数の多いクライアントPCのバックアップ状況をUDPコンソールで**一元的に管理**できます。また、新しく接続されたPCは**リモートインストール**で現地へ行かずに設定作業が可能で**導入作業の負担が軽減**されます。



arcserve®

> プランを使ったメニュー化のメリット

予めバックアップの「**プラン**」を設定し、対象クライアントに割り当てる設定方法。
バックアップの**メニュー化**と**設定の簡略化**が出来ます。



ユーザ部門:

重要度、業務運用などに合わせ
プランを**選択**

統合基盤管理者:

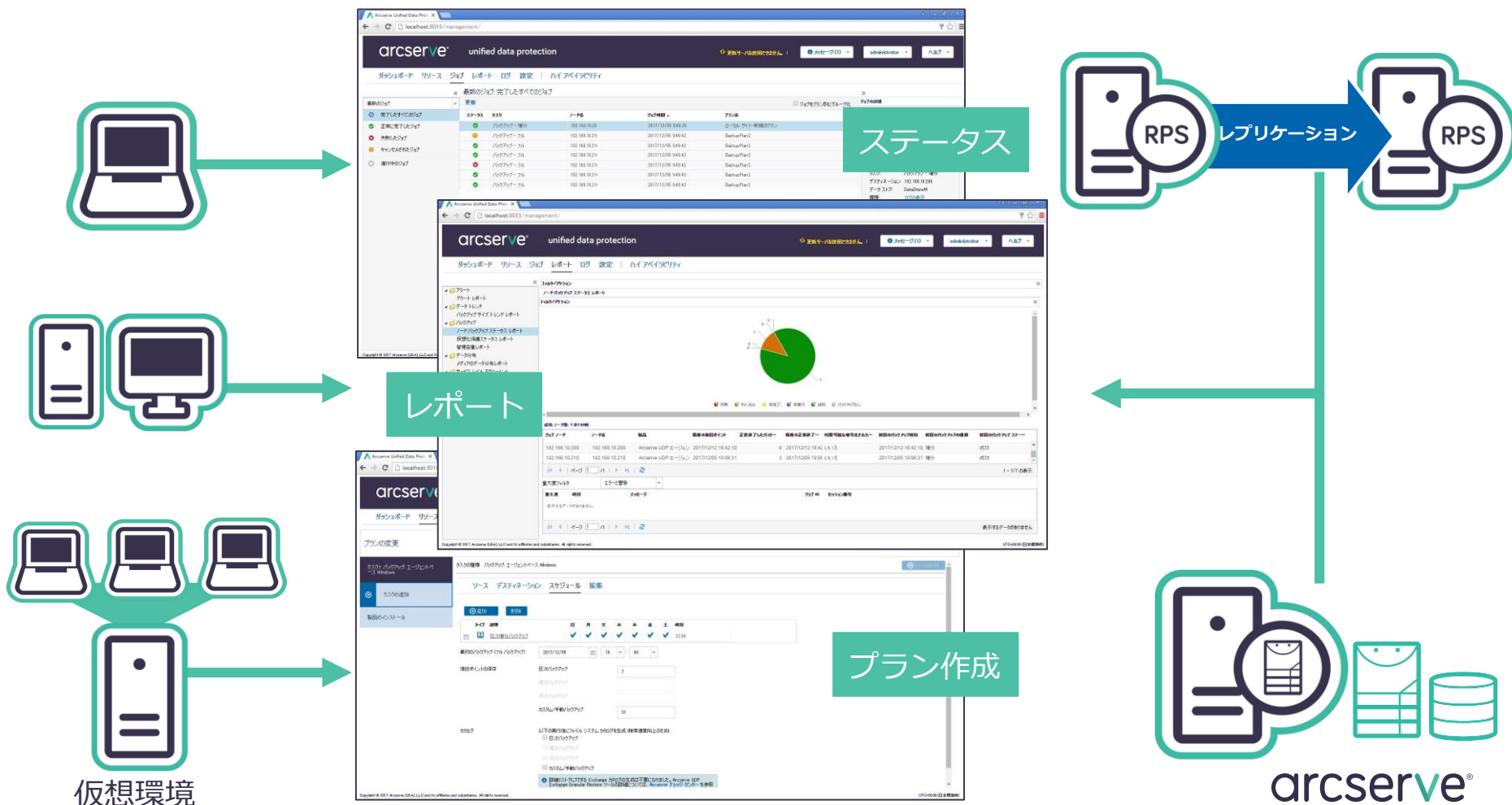
対象クライアントをプランに**割り当てる**だけで
バックアップが開始

複数のクライアントPCをまとめて簡単に設定可能!!

> UDPコンソールで簡単管理

簡単
管理

ブラウザ画面からバックアップの状況確認、バックアッププランの追加・配布、レポートの確認などの操作を行うことができます。
台数の多いクライアントPCも統合管理画面で一元的に管理が可能です。

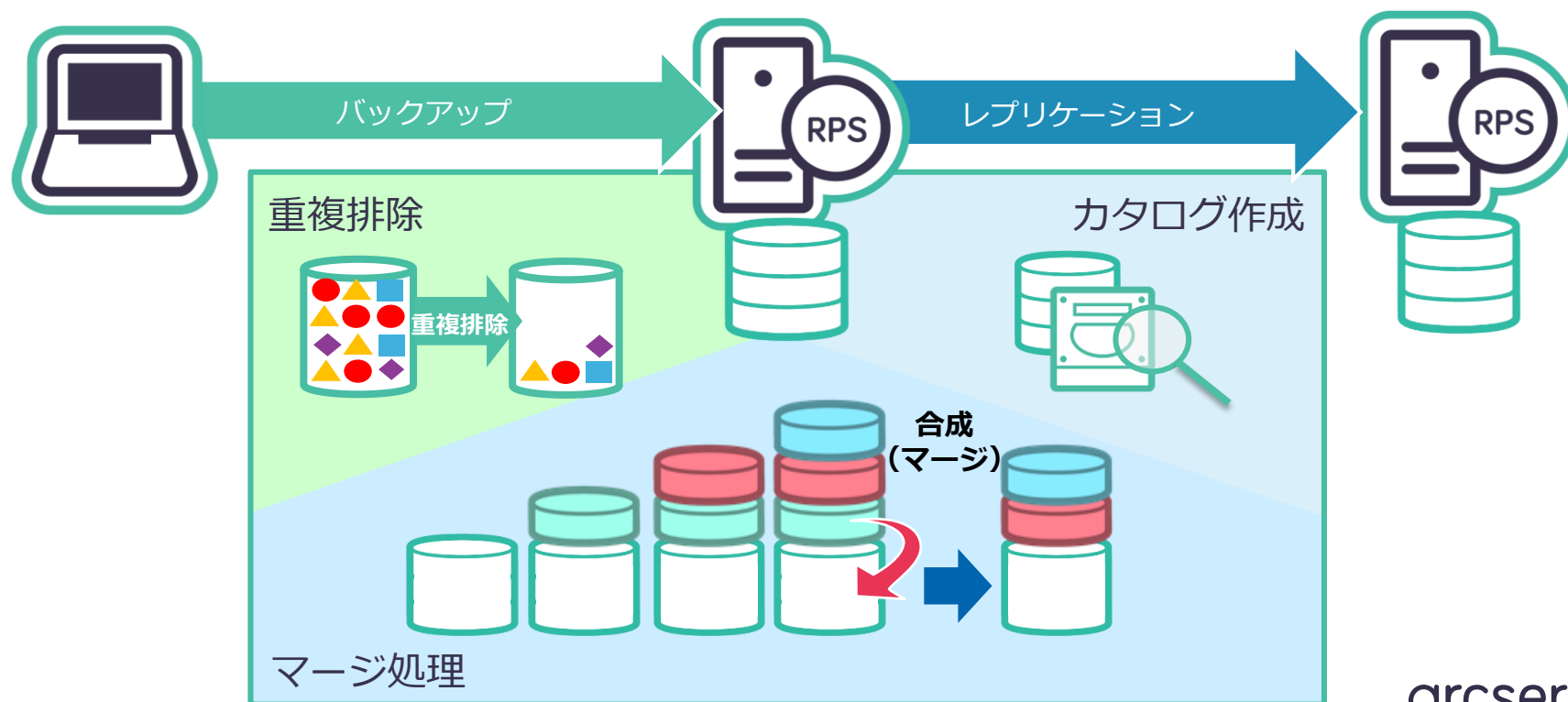


> 復旧ポイントサーバ

簡単
管理

復旧ポイントサーバ Recovery Point Server (RPS)

クライアントPCから送られてくるバックアップデータの保管および管理サーバ。
重複排除、マージ・カタログ作成の代行、復旧ポイントの複製を行う際に利用
できます。更にRPS間でレプリケーションが可能、**災害対策にも有効**です。



arcserve®

> 重複排除で、 膨らむバックアップ データ量を大幅削減

簡単
管理

重複排除：バックアップデータ内で同じブロックがあれば重複を排除
同一ノード内のほか、**異なるノード間でも重複排除を実施***

継続的な増分バックアップ + 重複排除を利用して
容量を抑えて多くの世代を保管できます

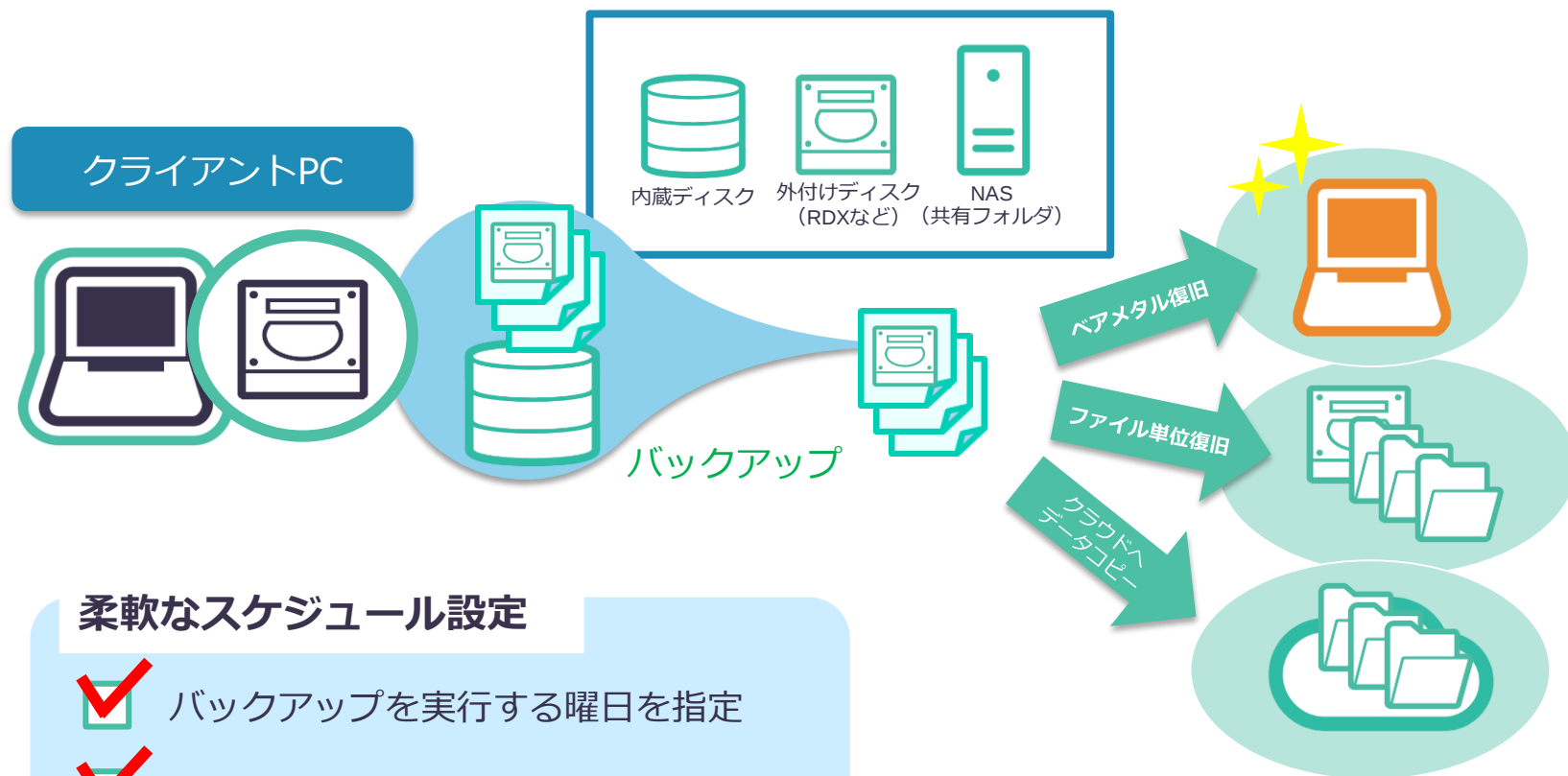
ネットワークを流れるバックアップデータも少なくすむため、台数の多いクライアントPCでも安心！



* 重複排除には復旧ポイント サーバが必要です **arcserve®**

> ご参考：自立型エージェント

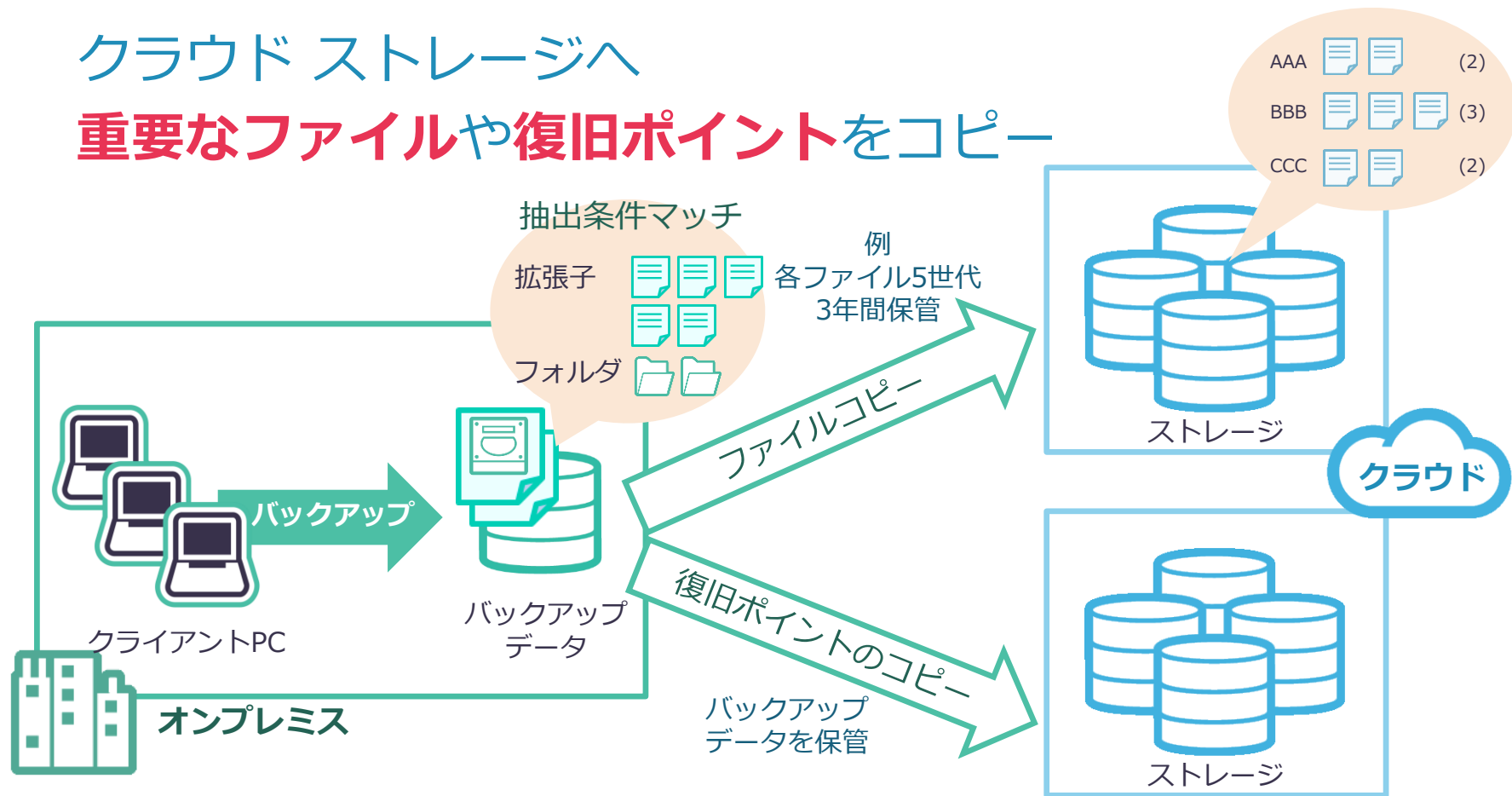
Arcserve UDP のエージェントはバックアップ サーバが無くてもエージェント単体でバックアップ／リストアが実施できる「**自立型エージェント**」
少数のバックアップではバックアップサーバ分のコストを節約



柔軟なスケジュール設定

- ✓ バックアップを実行する曜日を指定
- ✓ 週次・月次のバックアップを設定

➤ ご参考：クラウド利用、最小限のコストで災害対策
クラウド ストレージへ
重要なファイルや復旧ポイントをコピー



条件抽出で
必要なデータのみ転送
(ファイルコピー時)

継続増分で
変更ブロックのみ転送

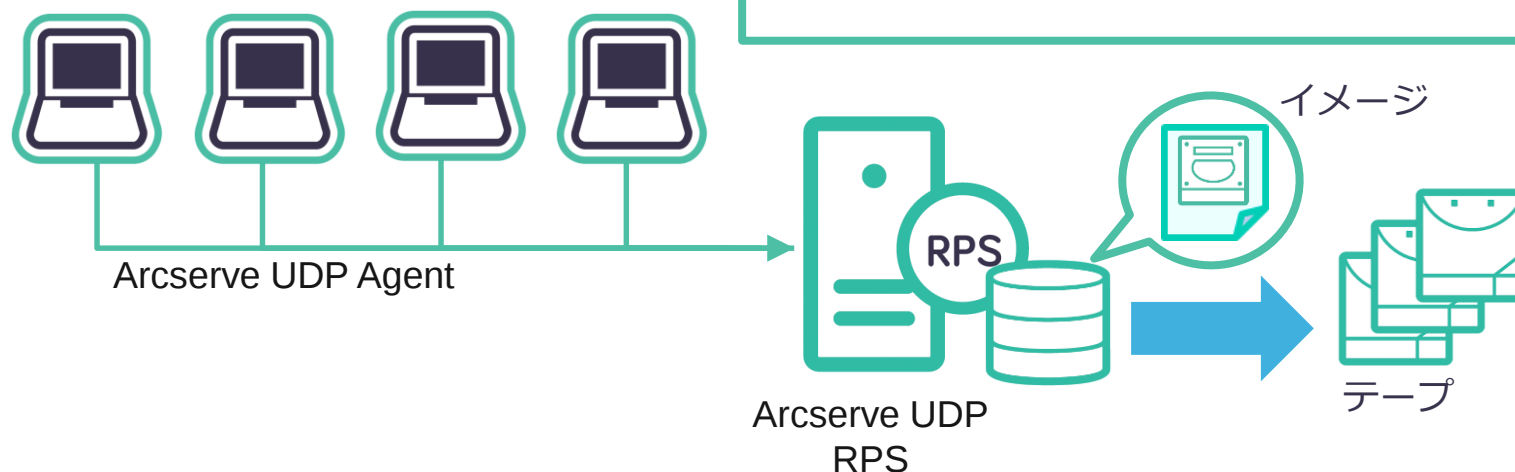
保管期限のほか、
ファイルごとに世代管理

> ご参考：イメージバックアップのテープ保管

イメージバックアップしたデータを
更に**テープ**へバックアップ！

テープ媒体の有効活用

- ✓ Disk to Disk to Tape (D2D2T) 運用
- ✓ 監査要件などのデータの長期保管対応
- ✓ 可搬性確保による災害対策

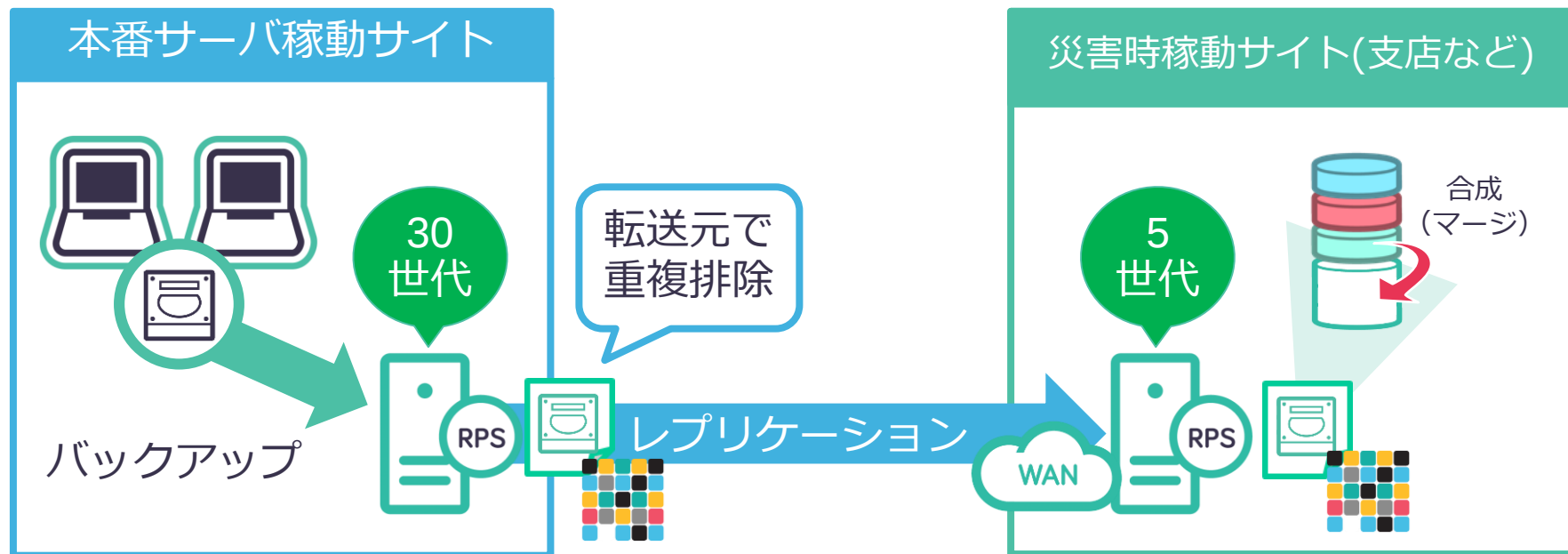


※ Arcserve Backup と連携（この連携のための Arcserve Backup のライセンスは無償）

※ 標準機能ではシングルドライブのテープ装置を使用してイメージバックアップデータをテープへ保存

> ご参考：バックアップデータのレプリケーション

災害対策にバックアップデータを**遠隔地に保管**しておきたい
WANに流れるデータは更に少なくしたい



重複排除で回線
使用量を更に削減

特定の曜日・時間を
指定して転送できる

転送先での世代数を
個別に設定できる

> 製品情報とお問い合わせ窓口



Arcserve ポータルサイト : arcserve.com/jp/

カタログセンター（カタログ、ライセンスガイド、技術資料）

Arcserve カatalogセンター

検索

サポートページ

<https://support.arcserve.com/s/?language=ja>



Arcserve ジャパン ダイレクト（ご購入前のお問い合わせ窓口）

例：「この構成に必要なライセンスは？」、「XXXをサポートしていますか？」



フリーダイヤル： 0120-410-116

（平日 9：00～17：30 ※土曜・日曜・祝日・弊社定休日を除きます）



Webフォーム： <https://arcserve.com/jp/about/contact/call-me/>



メール： JapanDirect@arcserve.com

arcserve®

arcserve®